

国内業界初の RFID を使用した白衣の個別管理システム

概要

従来、リネンサプライ事業「メンテナンス(洗濯)付リース」の白衣部門において、数量確認、顧客名読取り等の一連の工程を作業者の経験に頼っていたため、数量の不一致および所在不明などにより、納入時にクレームが発生していた。

非接触でデータの読み出し／書き換えが可能な RFID を使用し、固有情報(持ち主、サイズなど)、流通状況(所在、品質状態など)を書込んだタグを白衣に取り付けておくことにより、白衣管理システムの合理化を実現した。本システムは、RFID を使用した白衣の個別管理システムとしては国内初、リード／ライトタイプの RFID を使用したシステムとしては世界初である。

主なメリット

1. 複数タグの同時処理が可能で、優れた耐環境性と大きな記憶容量を持つ RFID (V700 シリーズ)を採用し、収集時点での伝票発行、受入作業の合理化、工程管理、配送先に自動分配が可能になり、システムの自動化／合理化を実現できる。
2. 流通データ収集が可能になり、商品の流通状況(品質状態、所在、など)の把握ならびに顧客ニーズの傾向の分析ができ顧客サービス向上が可能となった。また、将来的には配送車の経路の最適化／効率的利用により、流通システムの合理化にも発展が可能である。
3. 管理データとしてクリーニング回数、シミ抜きや補修の記録等を書込むことにより、生地および縫製の差による白衣の耐久性基準が把握でき、顧客への高品質な商品・サービスの提供が可能になった。